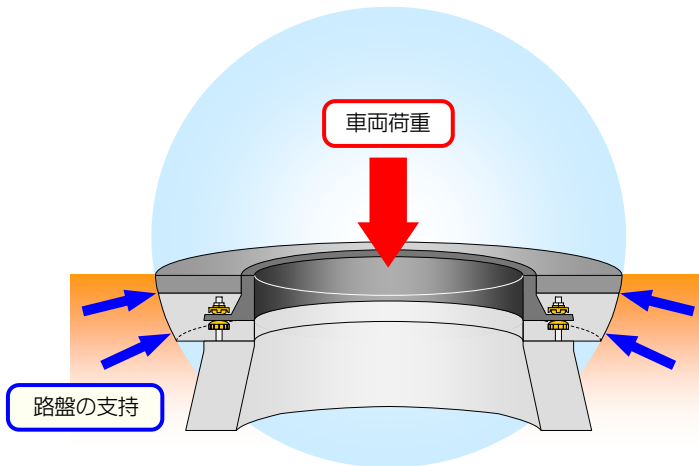


円形カット工法 マンホール鉄蓋取替工法

- 『路面カットのみ』『鉄蓋取り剥がし工事』まででも対応可能。
- 球面に切断し、基礎部を支持できるため、車両荷重にかかるほど密着強度が増します。



経済性

グラウンドマンホール鉄蓋の取替工事において、操作が簡単且つ短時間での工事が可能です。

仕上がり・品質

円形に切断するため、切断交差部が発生せず、工事の仕上がりがきれいです。

操作性

円形単一操作により構造・操作性ともにシンプルで、一般の工事業者の方でも簡単に操作することができます。

GMラウンドカッターは、小型で大型重機等を必要としないため、わずかな道路占拠で工事を行うことができます。特に、交差点や私道、狭い道路における取替工事では、車両の渋滞緩和や交通整備の負担を軽減することができ、早期解放、工事費用の低減化へ貢献することができます。

最大切断深さ	150mm
可能切断径	φ1050mm, φ1280mm, φ1570mm

GMラウンド工法

NETIS登録番号 QS-110036-A



ラウンドベース（路盤材）

- マンホール取替工事専用路盤材です。
- 無収縮、速硬性モルタルで工事時間を短縮することができます。
- 自己流動性に優れ、わずかな隙間へも充填できるので、施工品質を向上することができます。
- 骨材にリサイクル材(高炉スラグ)を使用しているため、環境にやさしい商品です。
- 硬化開始後、ゲル化の状態でもコテ等を使用し、傾斜施工に対応することができます。



ラウンドサーフ（表層材）

- マンホール鉄蓋取替工事専用 高耐久性常温舗装補修材です。
- ラウンドサーフは、特殊アスファルト乳剤と超速硬型特殊セメントと骨材の混合物で、高耐久性と早期強度発現を併せもつ舗装補修材です。
- 特殊アスファルト乳剤を使用しているため、改質型加熱アスファルト混合物と同様、優れた耐久性があります。
- 流動性のある常温舗装材でコテにより仕上げるので、騒音・振動の発生がほとんどありません。



固まる君ミックス（表層材）

- 固まる君ミックスは2液混合の樹脂硬化型常温合材で、ベース常温合材に現場で樹脂系硬化剤を混合して硬化させます。
- 表層部へ材料を余盛り後、加熱アスファルト合材と同様に、プレートで転圧して完了です。

◆GMラウンド工法施工手順



①作業準備
センタリング治具を固定します。



②切断作業
GMラウンドカッターを設置し、5cm毎に最大深さ15cmまで切断します。



③鉄蓋及び土砂除去作業
切断完了後、鉄蓋及びマンホール周辺の土砂を除去します。



④受枠設置作業
受枠を設置し、路面の高さに合わせてレベルを調整します。



⑤内型枠装着
調整部内面に内型枠を曲げながら挿入し、内周に密着させます。



⑥路盤材充填作業
鉄筋を設置し、ラウンドベースを用いて路盤部を充填します。



⑦表層材の充填・敷き均し
表層材を敷き均し、周辺路面とレベルを合わせます。



⑧完成
硬化後、周辺を清掃して完了です。